

通水は復興への第一歩



平成30年7月7日は、私たちに
とって、忘れられない日となりま
した。その2日前から断続的に降
り続く大雨は、かけがえのない11
名もの市民の命を奪いました。ま
た、本市の基幹産業である第一次
産業の生産地が寸断されるなど、
目を覆わんばかりの惨状がそこ
にありました。改めまして、犠牲と
なられた方ならびにご遺族の皆様
にお悔やみ申し上げ、被災されま
したすべての皆様に、心からお見
舞いを申し上げます。

発災後、早急な復旧に向けて取
り組みましたが、そこで立ちほだ
かったのが吉田・三間地区におけ
る上水道の断水でした。土石流が
浄水場を襲い、両地区は浄水機能
を完全に失ったのです。

発災から2日後、雨が止んだの
を見計らい、浄水を担当する南予
水道企業団や民間の技術者集団が
現地へ赴きましたが、同場所での
復旧を断念。その後の協議の中で、
たとえ流量が完全でなくとも、1
秒でも早く各家庭の蛇口に水を届
けることを最優先課題とすること

を確認し、新たな手法と場所で設
計業務に取りかかりました。

物資や人手など、本市だけでは
為す術がない中、国や県の力強い
バックアップにより必要物資は
次々と揃い、設置する専門家たち
も集結。大きな浄水プラントの輸
送には自衛隊の力も借り、先の見
えない状況に、うつすらと通水へ
の目標が見え始めました。その後
も引き続き支援を受け、8月上旬
に念願の通水となりました。

これらは、各関係機関の皆様、
そして何よりも、これまでずっと
我慢を続けてくださった市民の
皆様のご理解とご協力があったか
らこそ成し遂げることができた結
果であり、心から深く感謝申し上
げます。

この通水により、やっと今後の
復興へ向けてのスタートラインに
立つことができたと思っています。
引き続き全力を尽くします。

がんばろう宇和島！
未来に向かって、ともに歩んでい
きましょう。



みま米

今年もおいしい仕上がりに

9月に新米の季節を迎え、今年もおいしく仕上
がったみま米。平成30年7月豪雨による影響で、
田んぼに土石が入り込んだ地区もありましたが、
災害を乗り越え、無事出荷を迎えました。



なせうまいみま米

田んぼは、重粘土質で粘り気があり、用水に
はため池の軟水を使用。盆地特有の気候で、昼
夜の温度差が大きく、冬の積雪は土の殺菌作用
があり、夏は昼間の光合成でテンブンを作り夜
間に稲穂に蓄えられます。

これらの土・水・気候が育て上げるみま米は、
甘みと粘り気が強く、美味しく仕上がります。

毎年この季節には、道の駅みま
「新米まつり」が開催され、多くのお
客さんが買い求めています。



■新米まつり

【と き】9月1日(土)、2日(日) 午前9時～午後6時

【と ころ】道の駅みま

【問合先】道の駅みま ☎58-1122